

貧困地域への国際支援

「仕事に困るカンボジアの若者に、働ける場所を」という思いから製麺所「AIヌードル」を2015年に設立し、活動を続けています。

今月のAIヌードル

AI Noodle

● そば処桔梗(Kikyo) & AI Noodleで蕎麦研修スタート！

初日:まずはそば処桔梗※のレシピで、今の製麺機で出来るか試作。蕎麦にはなったが茹でている途中で麺がボロボロになり失敗。

2日目:レシピの配合を替え、製麺機のみと足踏と手ごねをしたもの 2種類作成。麺にはなったが、やはり茹でる途中で切れてしまい失敗。

3日目:またレシピの配合を変更(繋ぎを強くするため小麦粉の量を調整)機械だけでは蕎麦の製造は難しいと判断し、土屋社長が自らワンナに指導(下記写真参照)この時点でワンナは蕎麦の手ごねの技術を習得していて、他のスタッフに引継ぎしていた。この短期間での技術習得の速さには土屋社長もビックリした。桔梗ブランドの蕎麦として今後販売予定。5月中にプロのカメラマンをプノンペンに呼んで撮影、SNSに投稿予定。

● 蕎麦を作るようになった背景

土屋社長(右)はプノンペンに生蕎麦を出しているお店がないことに着目。桔梗は蕎麦の技術提供、AI Noodleは場所とスタッフの提供する形で業務提携。写真は土屋社長自ら指導している所、機械だけでは出来ない部分がある。ワンナ(左)がオペレーションを動画に撮っている様子。



▲ 左から桔梗オーナー土屋さん
桔梗シェフの元気さん、製麺スタッフとAI
Samurai FCの子供達 製麺所入口にて

※そば処桔梗は和食料理と日本酒・焼酎の呑める名古屋のそば居酒屋。視察を重ね今年2月にプノンペンにお店をOPEN。

カンボジアのお正月は年3回あります！

カンボジアでは3回お正月があります。1月1日のニューイヤー、2月の中国旧正月、そして4月の半ばのクメール正月です。カンボジア人はお祭りが大好きで製麺のスタッフは今年は全員シェムリアップに集合して営業もしました！



▲ タイガーリゾートにて



▲ シェムリで製麺の営業



エコキャップでのワクチン支援

皆さまに集めていただいたキャップは障害者施設で洗浄され、売却後の寄付金は「世界の子どもにワクチンを日本委員会」を通じて途上国に送られます。

今回の回収キャップ(2024/4/13分)

重量	換算寄付額
65.90 kg	659円
ポリオワクチン	CO2削減量
約 32.95 人分	207.59 kg
これまでの合計	
総重量	14.3 t

今後ともご協力いただけますようお願いいたします。

「SDGsスマイルプロジェクト」は、施設等に設置している飲料自動販売機の収益を活動資金とした取組です。このプロジェクトでは、国内外の貧困問題・社会問題に利用者様と職員が力を合わせてアクションを起こしています。

